

研究構想シート

学校名
氏名

雲南市立木次小学校
加藤 梨恵子

A 研究主題 「自立活動の視点を取り入れた学級活動を通じた学級づくりに関する研究～誰もが安心して学べる学校をめざして～」

B 研究の目的 自立活動の視点を取り入れた学級活動を全学年で実践することで、自他を大切にし、意欲的に生活・学習し、学級・学校に居心地のよさを感じる子どもの育成につながるかどうかを検証する。

C 子どもの実態

- ・規範意識が低く、すべきことが徹底しにくい。
- ・あいさつや言葉づかいなど、気持ちのよいふるまいができていない。
- ・自尊感情が低く、気持ち不安定で、落ち着きがない児童がいる。
- ・相手を思いやる気持ちが希薄で、トラブル等が多い。
- ・学習への意欲が低い児童が少なくない。

E 手立て・内容（研究仮説）
【仮説】
自立活動の視点を取り入れた学級活動の単元構想を練り、実践することで、自他を大切にし、意欲的に生活・学習し、学級・学校に居心地のよさを感じる子どもが育つだろう。
【手立て】
・全学年で自立活動の視点を取り入れた学級活動の単元構想を練り、実践する。

D めざす子どもの姿

○ 自他を大切にし、意欲的に生活・学習し、学級・学校に居心地のよさを感じる子ども

F 検証方法
【量的検証】
○ アンケートQ-Uによる分析
学級満足度尺度、学校生活意欲尺度について、学級集団の変容（集団としての変容）抽出児童（気になる児童、安定している児童）の変容（個としての変容）を検証する。
【質的検証】
○ 教師の児童観察による分析
授業実践前と授業実践後の児童の様子を各学年部で観察・記録し、学級集団の変容（集団としての変容）抽出児童（気になる児童、安定している児童）の変容（個としての変容）を検証する。

G 研究計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検証			アンケートQ実施	アンケートQU提出	アンケートQU分析 授業実践前の児童の様子				アンケートQU実施	アンケートQU提出 授業実践後の児童の様子	アンケートQU分析	
校内研修		30日 「自立活動の内容に着目した学級活動の実践」加藤「特別活動について」多久和		8日 「自立活動とは」藤川雅人先生 22日 「子ども理解・子ども支援について」原広治先生	未定 「伝える極意」安平光一郎先生	26日 授業について（各学年部で授業実践準備・授業協議）	24日 授業について（各学年部で授業実践準備・授業協議）	14日 授業について（各学年部で授業実践準備・授業協議）		16日 児童の変容分析・まとめ 実践事例集の作成	13日 児童の変容分析・まとめ 実践事例集の作成	今年度の研究のまとめ 来年度に向けて
授業実践							コミュニケーション期	自己理解期				
研究部	校内研究について	研究主題、研究仮説、研究の目的、方法、研究組織、研究計画	研究構想 授業実践について（授業計画）	授業実践について（指導計画・指導内容・指導案）		研究のまとめについて					研究のまとめ	今年度の研究 来年度に向けて

（令和6年3月4日職員会議「本校児童の実態について」より）